

【対策のポイント】

おおぬきいけ

- 大貫池は、貯水量が9万8千 m^3 と大きく、近隣にグループホームなどが存在するため、決壊時に大きな被害のおそれ。
- このため、3か年緊急対策において、洪水吐の拡幅と堤体の嵩上げを実施。
- 令和元年10月の大雨における被害を回避。

【取組地域の概要】

- 位置 ひがしいばらきぐんおおあらいまち
茨城県東茨城郡大洗町

茨城県

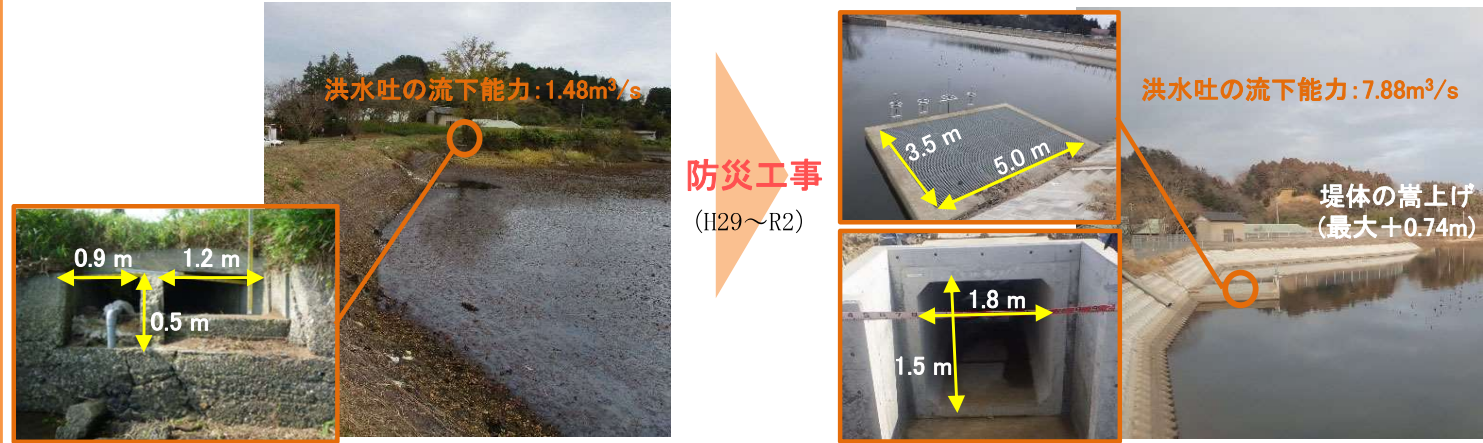


- 主要作物
・水稲、飼料用米 等

防災重点農業用ため池の防災工事を実施

- 3か年緊急対策において、洪水吐の流下能力の向上と堤体の嵩上げを実施。

基盤



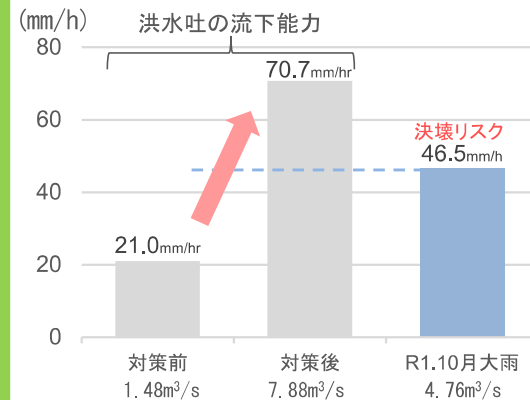
防災工事と併せたハザードマップ作成による防災意識の向上

地域の取組



堤体の決壊を防止し下流の被害を回避

- 令和元年10月大雨では時間雨量46.5mmを記録。
- 従前では溢水のおそれがあったが、洪水吐の拡幅工事を完了していたことで大雨時でも貯留水を安全に流下。
- 堤体の決壊が防止され、近隣のグループホームや農地などへの被害を回避。



想定される被害

	想定被害額	想定被害区域
対策前	9.5億円	12.9ha
対策後	被害なし	被害なし